

	前日 夕方	当日 朝	当日 昼
午後 検査の 方	○普段の夕食 ×飲酒	△7時までに済ませてください (いつもの7割程度)	×絶食 (水、お茶は可)
	糖尿病薬を使用されている方は、 服用または注射してください。	糖尿病薬を使用されている方は、 服用または注射してください。	糖尿病薬を使用されている方は、 服用または注射しないでください。

検査当日に採血を行い、空腹時血糖値を測定します。

絶食を忘れた場合や空腹時血糖値が200mg/dl以上の方は診断能が低下する為に、検査を中止させていただくことがあります。

3. 検査前の運動について

検査日の前日及び当日は、検査に支障が出るおそれがありますので、激しい運動（例：サイクリング・ランニング・水泳・重い荷物を持つ作業）などは控えてください。筋肉などにFDGが集積し、診断精度が下がる場合があります。

4. 女性の方に

女性の方で現在妊娠中の方は、PET-CT検査は出来ません。

授乳中の方は主治医と相談の上、あえて検査を行う場合注射後24時間は授乳中止してください。

5. 最近検査をされた患者さまに

バリウム検査は、胃や腸に残ったバリウムにより診断可能な画像を撮像出来ない場合がありますので、バリウム検査からPET-CT検査まで1週間以上の期間をあけるようお願いいたします。

6. 下剤の服用について

胃や腸の蠕動運動が活発になるとFDGが集積しやすいため、検査前日及び当日検査前の服用は控えてください。

7. 介助の必要な患者さまに

PET-CT検査は原則としてトイレに行く、検査台に寝ていただくなどは患者さま自身で行っていただきます。車いすなど日常生活において介助を必要とされる患者さまには検査の間、家族の方などの付添いをお願いします。付添いの出来ない場合は安全に検査が出来ないため、検査をお断りすることがあります。なお看護師の頻回のケアが必要な患者さまや、重症患者さま（ストレッチャーを含む）の検査は出来ません。また、30分間同じ姿勢を保つことが難しい方は、検査が出来ない場合があります。

8. オムツや尿とりパッドを使用している患者さまに

撮影前に必ず交換しますので、新しいものをご持参ください。

9. 使用薬剤（FDG：フルデオキシグルコース）の安全性について

検査に使用する¹⁸Fフルデオキシグルコースはブドウ糖の類似体であり、重篤な副作用の報告はありません。

10. 検査の安全性について

1回のPET-CT検査での検査薬による被ばく線量は約2～4mSv（シーベルト）、同時に撮像するCT撮像による被ばく線量と合わせても約5～15mSv（シーベルト）程度です。健康への影響は心配ありません。ただし、検査が終了しても、体内から微量の放射線が放出されています。検査後12時間は10歳以下の小児との密接な接触は控えてください。

11. ステロイド剤服用中の患者さまに

ステロイド剤は検査結果に影響を及ぼしますので、服用中の患者様は担当医師にご相談ください。

12. G-CSF製剤を投与された患者さまに

G-CSF製剤は、14日間の間隔を空けてPET-CT検査を行うことが推奨されています。

13. 検査のキャンセルについて

PET検査は予約検査であり、PET検査製剤は使用期限のとても短い高額な薬剤のため、検査当日のキャンセルや検査時間に遅れると、FDG検査薬は使用することが出来ません。都合により検査をキャンセルされる場合は、前日の15時までに（月曜検査の場合は前週金曜15時までに）下記までご連絡ください。

ご協力をお願いいたします。

松山赤十字病院 地域医療連携室 TEL:089-926-9527
(土日・祝日は除く)